

特別編 過去の災害に学ぶ

今回の非常食情報は特別編として過去に掲載したマンガを厳選して掲載いたします。

東日本大震災から間もなく11年です。経験や立場の違いはあっても、被災した方達はみな「備えは大事」と言います。ぜひ周りの人と防災について話し合ったり、備えを見直してみてください。



書籍「早わかり防災マニュアル」

日本出版制作センターから好評発売中！

- B6 変形判・236 頁
- 定価：本体 1,650 円（税込）

日本出版制作センターの書籍販売サイト
もどうぞご利用ください！

<https://www.center-net.jp/sales>

あれから10年① スマホ・SNS

この10年で世の中もだいぶ変わったよね
コロナ禍を別にすれば
スマホの普及が一番大きいかな？

2011年には29.3%だった
スマートフォン普及率は
今では80%をこえています

それまでは電話とメールが主
な通信手段だったけど
SNSで連絡とか情報収集
するようになったね

「既読」機能は災害時の
生存確認のためにあるって
聞いたことある

スマホもSNSもなくてはならない
「生活必需品」のような気がする
なくなったら恐怖だね

便利ですがデマが広がって
しまうなど負の側面もあり
ました
災害時の使い方によく考える
必要があります

設備とか物資みたいな
モノテクノロジーで解決
できることもあるけど
避難所の運営とか仕組み
が変わらなきゃいけない
ところもあるよね

あれから10年② 多様性

この10年で多様性について
意識するようになったな
普段は表に出てこなくても
災害のときに困難を抱えて
しまうって意外といえるよね

要配慮者のことですね
「災害弱者」とも言われます

高齢者、病気・けがを抱えた人、障害者、外国人、妊産婦、
小さい子ども、アレルギーを持つ人、性的少数者、場合によっては
ペットを連れて人や女性も避難所にいつらいかも……
けっこう多い！

設備とか物資みたいな
モノテクノロジーで解決
できることもあるけど
避難所の運営とか仕組み
が変わらなきゃいけない
ところもあるよね

大前提として差別や偏見、
他者への不寛容な態度を
社会からなくすることも欠かせ
ません

あれから10年③ 進化した非常食

この10年で非常食も
ぐっと進化しました！

おいしくて種類が豊富になっ
たのももちろんですが、
アレルギーやハラルなどに
対応した食品が増えたことも
特徴です
また、定番のお菓子などが
「非常食バージョン」として
長期保存用に発売されること
も珍しくありません

なかでも大きな話題は
2019年の乳児用液体ミルクの
発売です
粉ミルクのようにお湯を用意
して溶かすなどの手間がない
ので災害時にも
安心だけでなく、
育児負担軽減に貢献
しました！

自治体が備蓄している例も
あるようです

コロナ禍の今は
ローリングストックを始め
るチャンスでもあります

楽しみながらもしもの時への
備えをしましょう

家で食事をする回数もふえ、
病気で外出できなくなる
可能性もあるからです

男性も炊き出し訓練してみよう

炊き出し訓練やります
参加お願いします

お前行ってこいよ

男性の方も参加して下さい！
力仕事は男、炊き出しは女、
ってイメージありますが

東日本大震災以降、
「そういう決めつけは
よくないんじゃないか」
って言われ始めています

えーでも
料理なんてあまりしないし
炊き出しなんてできないよー

私だって
初めてよ

炊き出し用の
セットを
使うので
誰でも
簡単ですよ

災害時のデマ

災害時はいろいろ
デマも発生します

そういうのってほんと
許せないねー！

不安をおおったり
誰かを悪者に
仕立てたり…

話を広める前に必ず
信頼できる情報源が確認を
行いましょう

「友達に知らせる」とか「関係者
の話」とか書かれてると本当の
ことのようにだけど…

被災地に
送って！

日本のマス
コミ報道してな

ダークツーリズムって？

戦争や災害など
悲しい歴史をもつ場所を
訪れる旅行のことを
「ダークツーリズム」と
いいます

修学旅行で広島や
長崎に行って原爆の
ことを学ぶ感じかな？

「わざわざ旅行に行って勉強？」
と思うかもしれませんが
実際に現地を歩いたり見たり
するとよい経験になりますよ

ふーん…次の旅行の
ときは1カ所くらい
「負の遺産」を予定に
入れておこうかな

もちろん観光とはいえ
住民や亡くなった人に
配慮するのがマナーです

被災地だったら観光に
行くのは復興支援にも
なるんじゃない？